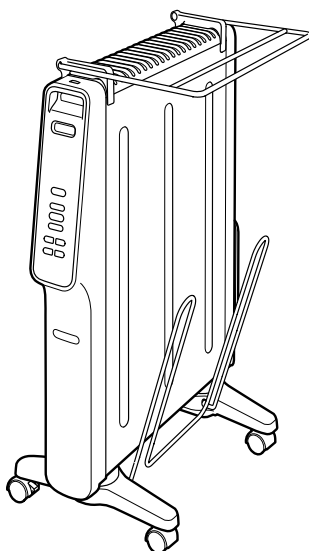


遠赤軽量ヒーター

SN-M271



取扱説明書 保証書つき

このたびはシロカ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

この製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

日本国内専用

USE ONLY IN JAPAN

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	6
お使いになる前の準備	8
知っておいていただきたいこと	12
時計の設定	14
暖房運転のしかた	15
タイマー運転	17
その他の機能	20
お手入れ／保管のしかた	21
故障かなと思ったら	22
仕様	26
部品・消耗品	26
保証とアフターサービス	27
保証書	28

安全上のご注意

— 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。

お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明



禁止(してはいけない内容)を示します。



強制(実行しなくてはならない内容)を示します。



警告

本製品の取り扱いについて



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない

発火・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターにご相談ください。



禁止

子どもや介護の必要な方だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

ペットしかいない状況で使わない
やけど・感電・けがの原因になります。操作できる人が必ず付き添ってください。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、本体や操作部に水、お茶などをかけたりしない

ショート・感電の原因になります。



禁止

スプレーなどの缶や薬品、油、紙類などを本体の近くに置かない

爆発や火災の原因になります。



禁止

踏み台にしたり、腰をかけたり、寄りかかったりしない

転倒して、けがの原因になります。



禁止

穴、すき間、開口部に指を入れたり、ピンや針金などの金属物を入れない

火災・感電・やけどの原因になります。



覆ってはならない

過熱を防ぐため衣類・タオル・ふとん・カバーなどで製品本体を覆わない

火災・故障の原因になります。製品本体のみで、乾燥などの暖房以外の用途には使用しないでください。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- 電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- 本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- 本体が作動しない など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。



幼児や子どもが不織布カバーをかぶって遊ばないように注意する

窒息の原因になります。

 **警告**

電源コード・電源プラグについて



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりはふき取る

ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V 以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



コンセントを単独で使う

コンセントが2口、3口であっても、他の製品と併用せず、単独で使用してください。発熱による火災の原因になります。



禁止

延長コードやテーブルタップは絶対に使わない

コンセントや電源プラグ・電源コードが異常発熱し、発火の原因になります。



禁止

使用中は、電源コードを束ねたりコードホルダーに巻きつけたままにしない

熱の逃げ場がなくなって電源コードが高温になり、発火の原因になります。電源コードは残さずコードホルダーから解いてください。



使用中は、電源コードが本体に触れないようにする

熱で電源コードが傷み、ショート・感電の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、機器に挟み込む、束ねる など

電源コードを破損したときは、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに修理を依頼してください。



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

やけど・感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードに重いものをのせたり、機器に挟んだりしない

電源コードが傷つき、ショート・感電の原因になります。



禁止

運転中に電源プラグを抜き差ししない

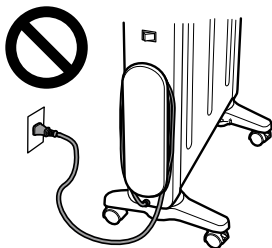
火災・感電の原因になります。



禁止

収納の際、電源コードをコードホルダーに強く巻かない

電源コードが破損し、火災の原因になります。



 **警告**

設置に関する注意事項



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない

転倒によるけが・故障や火災の原因になります。以下のような物の上では使わないください。
毛足の長いじゅうたん、ふとん、プラスチック樹脂 など



禁止

カーテン・ふとんなどの可燃物の近くで使わない

火災の原因になります。



禁止

本体の上に物を載せたり、本体の下に物を置いて使わない

高温により本体や物の変形、変質し、火災の原因になります。



禁止

仰向け、横倒し、逆さまにしない

変形・故障・発火の原因になります。



水ぬれ禁止

屋外や風呂、シャワー室、および水泳プールの周辺部など、水のかかる恐れのある場所や湿気の多い場所では使わない

ショート・感電の原因になります。



ヒーターの移動は必ず本体が冷めてから行う

高温のため、やけどの原因になります。本体が冷めてから、移動してください。



禁止

テーブルや机の下、電源をとるコンセントのすぐ下では使わない

本体の上部をふさぐと、火災・故障の原因になります。

また、ヒーターの熱でコンセントや電源コード・電源プラグが変形、変質し、火災の原因になります。

電池に関する注意事項



電池の取り扱いには充分注意する

使いかたを誤ると、発熱や破損、けが・やけど・感電の原因になります。

- 指定以外の電池を使わない
- +と-を逆にして使わない
- 充電、分解、加熱しない
- ショートさせない
- 火の中に入れたり、加熱しない
- 水につけたり、ぬらさない
- 電池から漏れた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流す
- 長期間使わないときは、電池を取り出す など



禁止

電池は子どもの手の届くところに置かない

子どもが電池をなめたり飲み込んだりしないように充分注意してください。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

⚠ 注意

使用上の注意事項



接触禁止

使用中や使用後しばらくは、本体に触れない

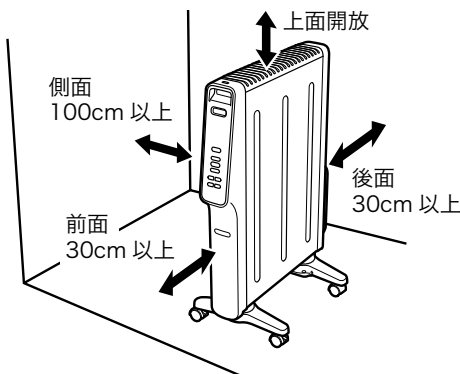
高温のため、やけどの原因になります。



禁止

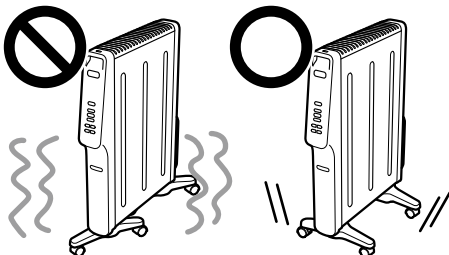
家具などの近くで使わない、壁に押しつけない

熱で家具などを傷め、変色・変形の原因になります。壁や家具などから前方・後方30cm、側方100cm以上離して設置してください。また、上方は開放してください。



閉じている脚を正しく開いて使用する

落下・転倒により、けがや故障の原因になります。



プラグを抜く

外出するときや長期間使わないときは電源プラグをコンセントから抜く

外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



犬や猫などのペットのいる部屋で使うときは、ガードなどで本体・電源コードを必ず保護し、使用中はペットから目を離さない

ペットが本体・電源コードを傷つけると、ショート・感電・火災の原因になります。ペットが本体に触れると、やけどの原因になります。



禁止

長時間皮膚の同じ箇所をあためない

低温でも長時間皮膚の同じ箇所を暖めていると、低温やけどの原因になります。



お手入れは本体が冷めてから行う

高温部に触れると、やけどの原因になります。使用後は、本体が冷めるまで約30分かかります。



リモコンの電池を廃棄するときは、各自治体の指示に従い処分する

そのまま廃棄すると思わぬ事故の原因となります。



禁止

リモコンは、直射日光のあたるところやヒーターの放熱部の近くなど、高温になる場所に放置しない

やけど・けがの原因になります。



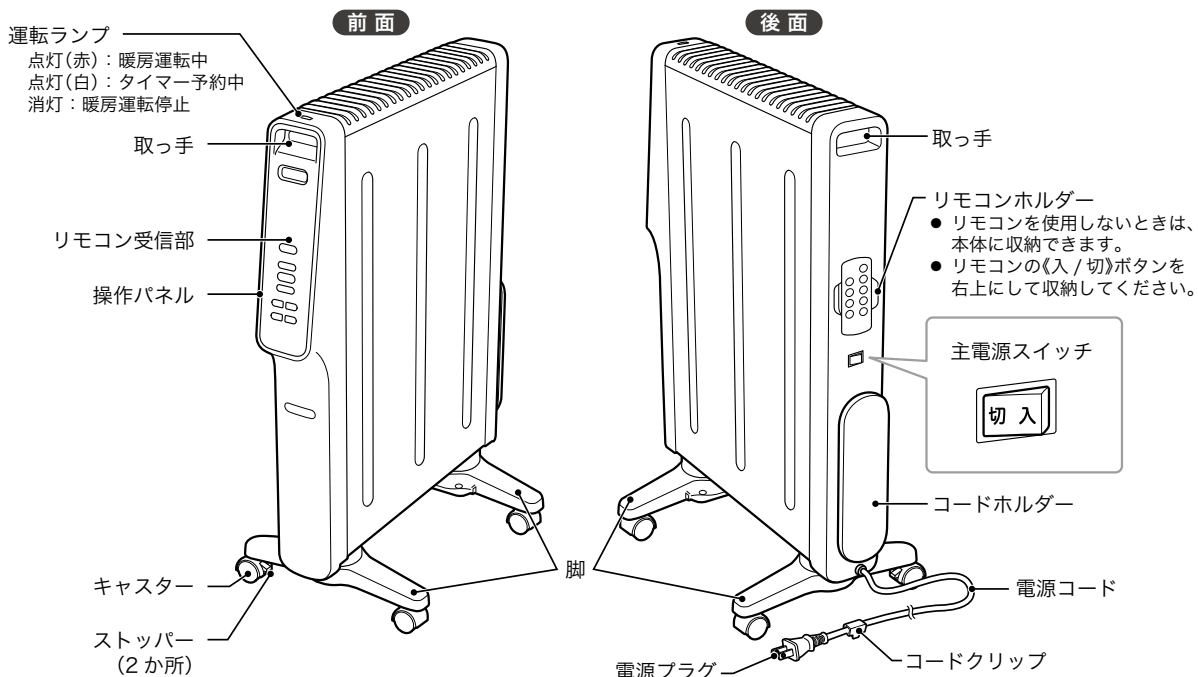
禁止

リモコンに液状のものをかけたり、落したり、踏んだりしない

故障の原因になります。

各部のなまえ

本体



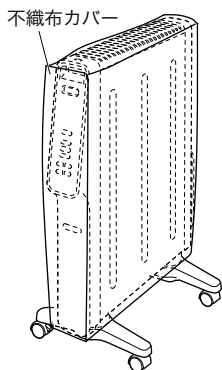
付属品

▶ リモコン

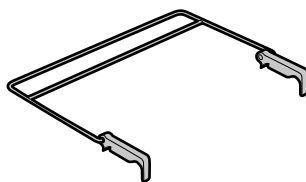


(テスト電池付き)

▶ 不織布カバー



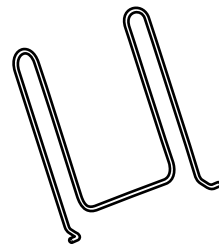
▶ タオルハンガー



●▶「タオルハンガーを取り付ける」

9 ページ

▶ シューズハンガー



●▶「シューズハンガーを取り付ける」

10 ページ

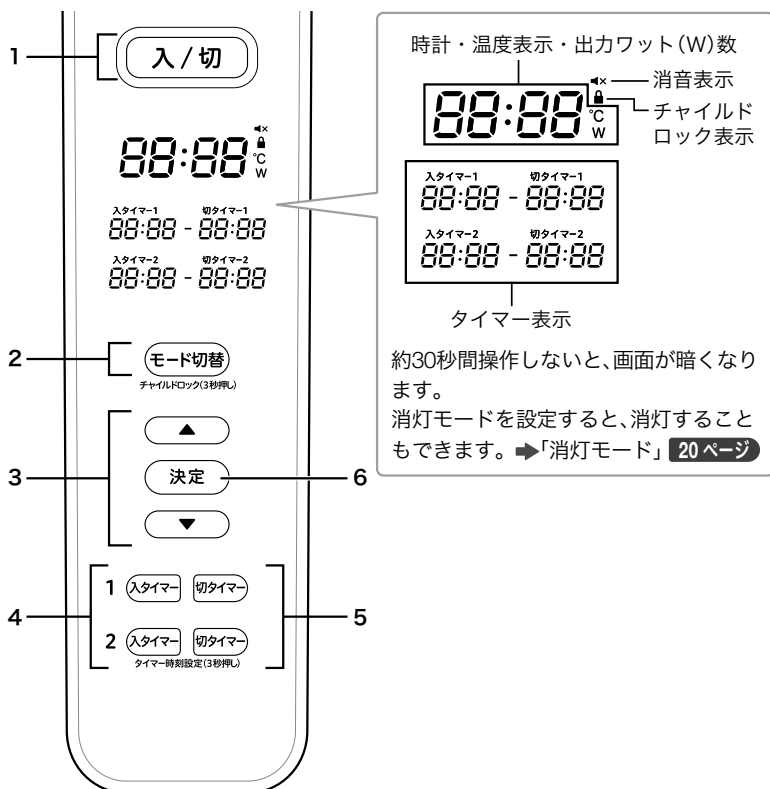
過熱防止装置の働き

この製品には、過熱防止装置がついており、本体が過熱すると、自動的に温度調整します。また、異常過熱により温度調整範囲を超えると、自動的に電源が遮断するようになっています。本体が冷めた後(約30分後)に電源を入れなおしてください。電源が入らない場合は、シロカサポートセンターまでお問い合わせください。

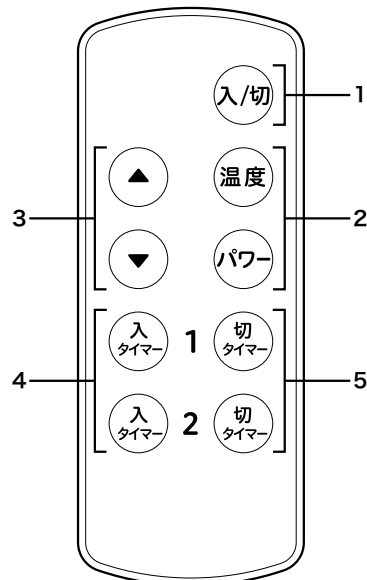
自動電源遮断装置の働き

この製品には、自動電源遮断装置がついており、運転中に本体が倒れたり、傾いたりすると、自動的に運転が停止します。本体の傾きを戻してから、《入/切》ボタンを押すと、再び電源が入ります。

操作パネル／画面



リモコン



名称	説明
1 運転《入/切》ボタン	運転の入/切を切り替えます。
2 《モード切替》ボタン 《温度》ボタン / 《パワー》ボタン	暖房運転の設定(「温度モード」「パワーモード」)を切り替えるときに押します。 15 ページ 操作パネル：チャイルドロックの設定/解除をするときに約3秒押します。 20 ページ
3 《▼》ボタン / 《▲》ボタン	操作パネル：時計やタイマー運転の設定をするときや、温度や出力ワット(W)数を選ぶときに押します。 リモコン：温度や出力ワット(W)数を選ぶときに押します。
4 《入タイマー》1 / 2ボタン	入タイマーを設定するときに押します。 17 ページ 操作パネル：入タイマーの時刻を設定するときに約3秒押します。
5 《切タイマー》1 / 2ボタン	切タイマーを設定するときに押します。 17 ページ 操作パネル：切タイマーの時刻を設定するときに約3秒押します。
6 《決定》ボタン	時計やタイマー運転の設定を確定するときに押します。

| お使いになる前の準備

ご注意

- 脚を開くときや閉じるとき、付属品(タオルハンガー、シューズハンガー)を取り付けるときは、安全のため次のことをお守りください。
 - ・ 周囲にもものがない、平らな広い場所で作業を行う。
 - ・ 床面の傷つきを防ぐため、タオルなどの柔らかいものを敷いて作業する。
 - ・ 1人で作業する場合は、作業中に本体が倒れたりしないようにしっかりと固定する。
 - ・ お子さまがいるところでは作業しない。

閉じている脚を開く

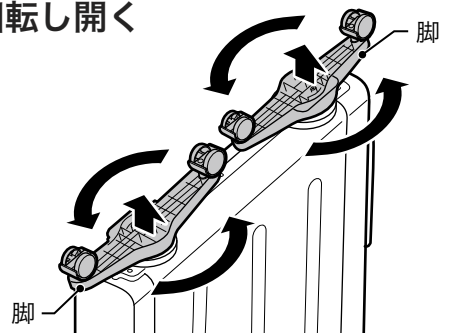
1 タオルなどの柔らかいものを敷いて、その上に本体底部を上に向けて置く

- 本体を床に直接置くと、床に傷がつく原因になります。

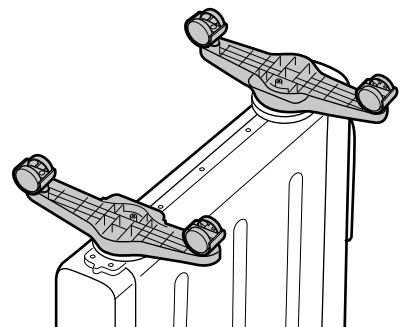
2 閉じている脚を上を持ち上げ、左に90度回転し開く

脚がしっかりとロックされるまで90度回転させます。

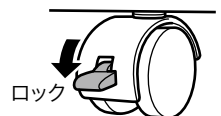
- 1 脚を上を持ち上げながら、左に90度回転させる
止まるところまで回してください。



- 2 脚を本体へ降ろす
本体に固定されます。脚を軽い力で回転させ、固定されたことを確認してください。



- 設置の際は、ストッパーを下に押し、キャスターをロックできます。移動する場合、ストッパーを上に戻し、キャスターのロックを解除してください。



開いている脚を閉じる

脚を上を持ち上げながら、右に90度回転させて閉じてください。

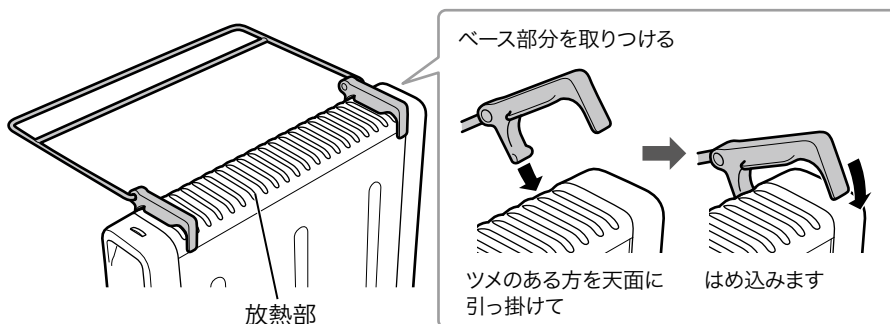
タオルハンガーを取り付ける

付属のタオルハンガーは、必要に応じて取り付けてください。

取り付ける向きを変えることで、本体側面のどちら側にもタオルをかけることができます。ここでは、本体の右側面にタオルをかける場合で説明しています。

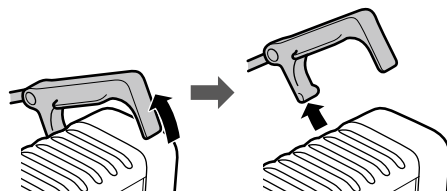
1 ベース部分を片側ずつ本体天面に取り付ける

- ベース部分は、本体天面の放熱部の端に取り付けます。しっかり押し込んでください。



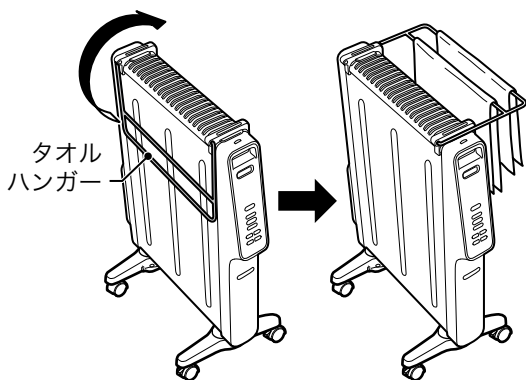
▶ タオルハンガーを取りはずすときは

取り付けと逆の手順で、本体からベース部分を取りはずしてください。



タオルハンガーを使う

ご使用時は、ハンガー部分を回転させて本体天面で固定します。



ご注意

- タオルハンガーは、水洗いしたタオル(織物)の乾燥だけに使用してください。
- タオルはよく絞ってからかけてください。本体に水がかかると故障の原因になります。
- 次のような物は絶対に乾燥させないでください。発火・火災の原因になります。
 - ・油がついた物(美容オイル、食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油など)
 - ・化学繊維製品(セルロース系クロスなど)
- 重いものをかけないでください。(耐荷重：1kg) 本体が転倒し、破損・けがの原因になります。
- ヒーター全体を覆う使いかたはしないでください。火災・故障の原因になります。
- タオルハンガーに強い力を加えたり、衝撃を与えないでください。本体から外れて、破損・けがの原因になります。

お使いになる前の準備

シューズハンガーを取り付ける

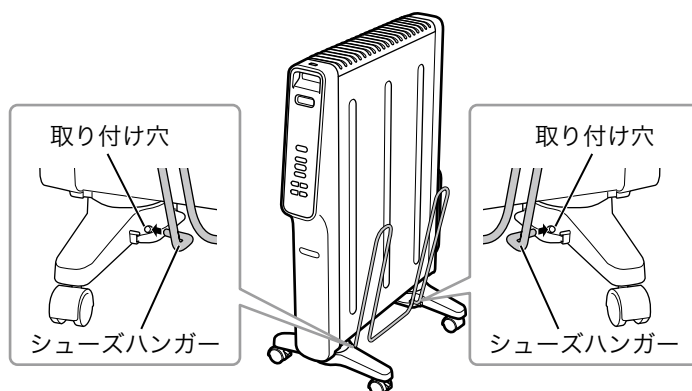
付属のシューズハンガーは、必要に応じて取り付けてください。

本体側面の左右どちら側にも取り付けができます。

ここでは、本体の右側面に靴をかける場合で説明しています。

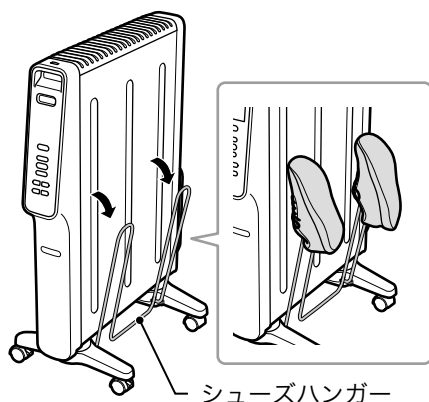
1 シューズハンガーの先端を、脚の内側の取り付け穴に差し込む

- 片側の先端を先に差し込んだ後、もう片側の先端を押さえながら、差し込みます。



シューズハンガーを使う

ご使用時は、ハンガー部分を倒します。
使用後は元に戻してください。



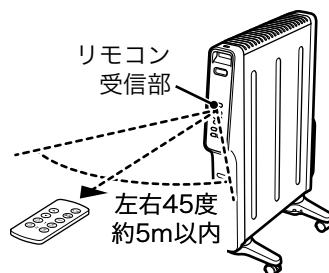
ご注意

- シューズハンガーは、水洗いした靴の乾燥だけに使用してください。
- 靴の水気をよくふき取ってから、シューズハンガーにかけてください。
本体に水がかかると故障の原因になります。
- 次のような物は絶対に乾燥させないでください。
発火・火災の原因になります。
 - ・油がついた物(美容オイル、食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油など)
 - ・化学繊維製品(セルロース系クロスなど)
- 熱に弱い靴を乾燥させないでください。
変形・変色・破損の原因になります。
- 重いものをかけないでください。(耐荷重：2kg)
本体が転倒し、破損・けがの原因になります。
- 革靴の乾燥はしないでください。
変色や型くずれの原因になります。
- シューズハンガーに強い力を加えたり、衝撃を与えたりしないでください。
本体から外れて、破損・けがの原因になります。

リモコンの使いかた

リモコンをお使いになる前に裏面の絶縁シートを引き抜いてください。

- 運転や設定をするときは、リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて、ボタンを押します。
- リモコンを操作できる範囲は約5mです。



ご注意

• 以下のような場合は、リモコンの操作ができないことがあります。

- 本体の受信部とリモコンの間に障害物がある場合
- インバーター照明器具、電子瞬時点灯照明器具をお使いの場合
- 本体の受信部に直射日光などの強い光が当たっている場合

おしらせ

- お買い上げ時はテスト電池が入っています。テスト電池のため寿命が短い場合があります。
- 本体背面にあるリモコンホルダーにリモコンを収納することができます。

▶ 電池交換のしかた

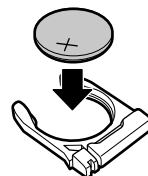
本体がリモコンの操作を受け付けなくなったときは、市販の新しいリチウム電池(CR2032)と交換してください。

1 リモコンを裏返し、右図のタブを押しながら電池トレイを引き出す



2 古い電池を新しい電池に交換する

- 印字面(+側)を上向きにしてリチウム電池を電池トレイに入れます。



3 電池トレイをリモコンに入れる

ご注意

- 電池の誤飲を防ぐため、乳幼児のいるところでリモコンの電池交換をしたり、リモコンを放置したりしないでください。

| 知っておいていただきたいこと

あたたまるしくみ

本製品はヒーター素材に天然鉱石の雲母を使用しています。
温風を出してあたためるエアコンやファンヒーターと異なり、遠赤外線効果ですぐに体を直接あたためます。同時に輻射熱で部屋もじんわりあたためます。

ご注意

- **運転してすぐに部屋全体はあたたまりません。**
タイマー機能を使って少し前から電源を入れたり、最初だけ他の暖房器具を併用するなどしてください。

設置場所について

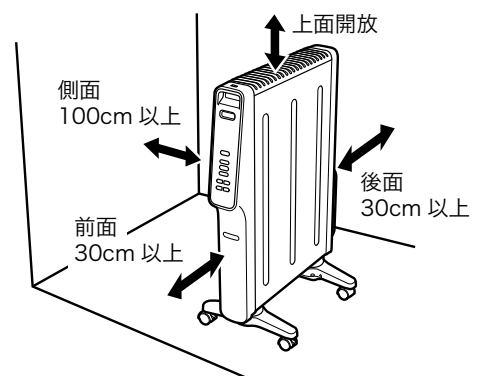
ご注意

- **ホットカーペットや床暖房の上では使用しないでください。**
温度センサーが正しく動かず、誤作動の原因になります。
- **本体を移動する際は、キャスターのストッパーのロックを解除し、取っ手を持ってゆっくり移動するか、本体を持ち上げて移動してください。**
床面が傷つく場合があります。
- **かならず脚を開いて使用してください。**

必ずお守りください

ヒーターは、壁や家具、カーテンなどの周囲の可燃物から右図の距離を離して、設置してください。

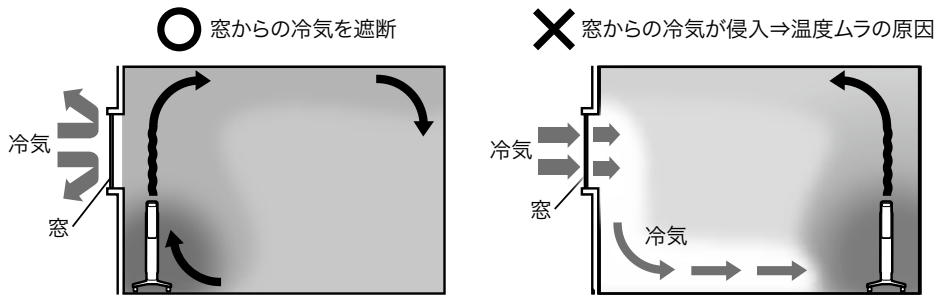
- 脚を正しく開いて使用してください。
転倒による破損やけがの原因になります。
- タオルハンガー、シューズハンガーを取りつけない場合も、右図の距離を離して、設置してください。



効果的にあたためるためのポイント

▶ 設置場所

窓際や、外気に触れている壁際などに設置してください。ヒーターの暖気によって冷気の侵入を抑え、部屋全体をムラなくあたためます。



▶ より効果的に部屋をあたためるには

- 厚手のカーテンを付けて、冷気の侵入を防ぐ。
- ドアを開閉する回数を減らすことで、冷気の侵入を抑える。
人の出入りが少ない寝室などでのご使用がおすすめです。
- 部屋全体があたたまるまでの間は、エアコンなどの他の暖房器具を併用する。

設定内容の記憶保持について

主電源スイッチを《切》にした状態が約1週間続くと、設定内容がリセットされてお買い上げ時の状態に戻ります。

- お買い上げ時の設定
→「本体の設定をリセットする」 [20ページ](#)
- 時計の設定が「00 : 00」に戻ります。
- 入/切タイマーを設定している場合、設定内容がリセットされます。
- 暖房運転の設定内容がリセットされます。(運転モード「温度」、設定温度「20℃」)
- チャイルドロックを設定している場合、チャイルドロックが解除されます。
- 消灯モード・消音モードを設定している場合、設定が解除されます。

なおについて

初めてお使いになるとき、また長時間お使いにならなかったあとに使用されるときは、本体からにおいがすることがありますが、使用にともない少なくなります。

機能や安全性に問題はありませので、安心してお使いください。

使い始めのにおいが気になる場合は、においがこもらないように周囲の風通しをよくしてお使いください。

| 時計の設定

お買い上げ時は、時計は設定されていません。タイマー運転を使用するには、時計の設定が必要です。

ご注意

- 設定中にボタン操作をしない状態が約30秒続くと、時計の設定モードが終了します。設定途中の時刻は反映されませんので、再度設定するには《決定》ボタンを長押し(約3秒)して、手順3から設定をやり直してください。

1 電源プラグをコンセントに差し込み、本体後面の主電源スイッチを《入》にする

ご購入後に初めてお使いになる場合や、本体の設定をリセットしたときは、主電源スイッチを《入》にただけで、時計設定画面になります。その場合は手順3へ進んでください。



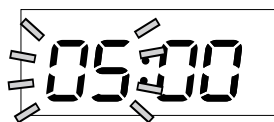
電源オン

- 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

2 本体の《決定》ボタンを長押しする

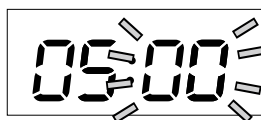
時計設定画面になります。

3 本体の《▲》ボタンまたは《▼》ボタンを押して「時」を合わせ、《決定》ボタンを押す



- 「時」を合わせて《決定》ボタンを押すと、「分」の設定モードに切り替わります。

4 本体の《▲》ボタンまたは《▼》ボタンを押して「分」を合わせ、《決定》ボタンを押す



- 「分」を合わせて《決定》ボタンを押すと、時計の設定が完了します。

▶ 時計を設定しないで使うには

お買い上げ時、または本体をリセット直後の時計設定画面で《入/切》ボタンを押してください。表示が「00:00」に固定されます。

時計を設定して使いたいときは、《決定》ボタンを長押しして時計を設定してください。

暖房運転のしかた

ご注意

- 電源コードはコードホルダーから解いて、お使いください。
- 使用中は電源コードを束ねないでください。
熱の逃げ場がなくなって電源コードが高温になり、発火の原因になります。
- たこ足配線や延長コードの使用は、絶対にしないでください。
発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。壁のコンセントは2口、3口であっても、本製品をお使いのときは単独でお使いください。
- 脚を正しく開いて使用してください。
転倒による破損やけがの原因になります。
- 壁や家具から適切な距離をあけて設置してください。
➔「設置場所について」[12ページ](#)
- 手動の暖房運転や、入タイマーのみで暖房運転しているときに、操作しないままの状態で8時間続けて運転すると自動的に運転が停止します。運転を再開する場合は、《入/切》ボタンを押してください。

暖房運転を始める

1 本体の主電源スイッチが《切》になっていることを確認してから、電源プラグをコンセントに差し込む

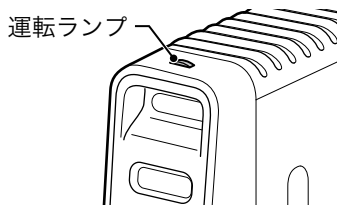
- 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

2 主電源スイッチを《入》にする



3 《入/切》ボタンを押して、運転を開始する

- 本体の運転ランプが赤色に点灯して、暖房運転が始まります。



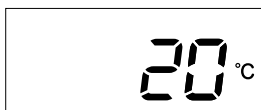
4 暖房運転の設定をする

- お好みで、「温度」と「パワー」の運転モードから選んでください。
お買い上げ時は、「温度」モード20℃に設定されています。

暖房運転のしかた

温度モード

設定温度と周囲温度の差により、パワー（暖房の強さ）を自動で切り替えながら運転します。あたためすぎを防ぐため、「パワー」モードよりも経済的です。



①《モード切替》ボタン、または《温度》ボタンを押します。

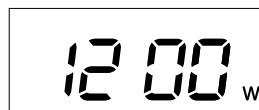
- 本体で操作する場合は《モード切替》ボタンを押します。
押すたびに、「温度」「パワー」モードが交互に切り替わります。
- リモコンで操作する場合は《温度》ボタンを押します。

②《▲》ボタンまたは《▼》ボタンを押して、温度を選択します。

14°C～28°Cまで1°C単位で設定できます。

パワーモード

選択した出力ワット(W)数で、連続運転します。



①《モード切替》ボタン、または《パワー》ボタンを押します。

- 本体で操作する場合は《モード切替》ボタンを押します。
押すたびに、「温度」「パワー」モードが交互に切り替わります。
- リモコンで操作する場合は《パワー》ボタンを押します。

②《▲》ボタンまたは《▼》ボタンを押して、出力ワット(W)数を選択します。

1200W（強） / 800W（中） / 400W（弱）から希望のパワーを選択します。

暖房運転を終了する

1 《入/切》ボタンを押して、運転を停止する

- 運転ランプ(赤)が消灯します。
- タイマー予約中は、運転ランプは白色の点灯に変わります。



▶ 外出するときや長期間使用しないときは

主電源スイッチを《切》にし、電源プラグを抜く

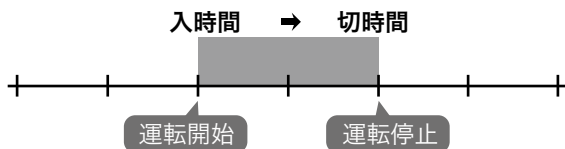


電源オフ

タイマー運転

本製品のタイマーについて

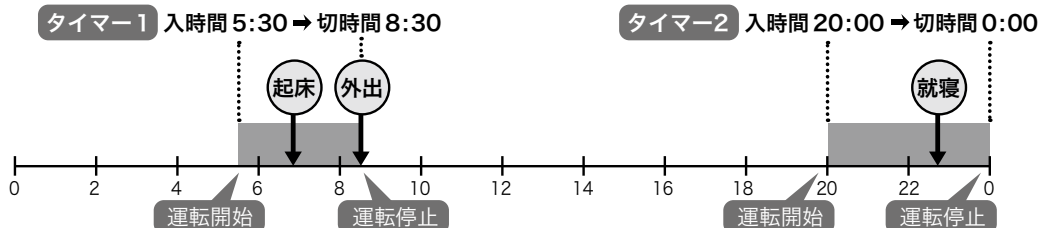
- 入時間と切時間は、10分刻みで設定できます。
- タイマー運転は、一度予約すれば毎日くり返します。
- タイマー1 / タイマー2の2パターンが使用できます。
2つのタイマーは、同時に使用することもできます。
(運転の時間帯が重なっている場合、2つのタイマーを同時に予約することはできません。)
- 入タイマー / 切タイマーとしても使用することができます。
入タイマー：設定した時刻になると自動で運転を開始します。運転停止は手動で行います。
切タイマー：運転中に、設定した時刻になると自動で運転を停止します。



タイマーの活用例

起床や就寝などの毎日の生活パターンにあわせて、部屋を上手にあたためておくことができます。

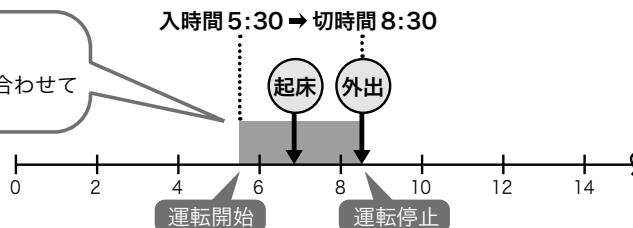
例1：起床時間と就寝時間に合わせて部屋をあたためておきたいとき



例2：朝のタイマー運転を、平日と休日で使い分けたいとき

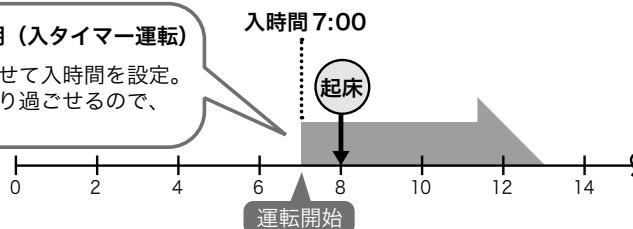
タイマー1：平日の朝

起床時間と外出時間に合わせて運転時間を設定



タイマー2：休日の朝 (入タイマー運転)

休日の起床時間に合わせて入時間を設定。起床後は部屋でゆっくり過ごせるので、手動で運転を停止



| タイマー運転

入/切タイマーを設定する

- タイマー運転には時計の設定が必要です。

➔「時計の設定」 14 ページ

ご注意

- タイマー設定の途中で、ボタン操作をしない状態が約30秒続くと、設定モードが終了します。設定をやり直す場合は、手順2から行ってください。

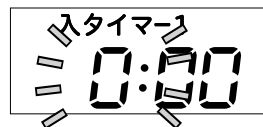
1 主電源スイッチを《入》にする

2 本体の設定したい《入タイマー》ボタン、または《切タイマー》ボタンを長く押す(約3秒)

- 《入タイマー》ボタン、《切タイマー》ボタンは2種類あり、タイマー1とタイマー2として設定できます。
- タイマーは運転中、運転停止中のいずれの場合でも設定できます。

3 本体の《▲》ボタンまたは《▼》ボタンを押して「時」を合わせ、《決定》ボタンを押す

- 「時」を合わせて《決定》ボタンを押すと、「分」の設定モードに切り替わります。



入タイマー1の場合の表示例

4 本体の《▲》ボタンまたは《▼》ボタンを押して「分」を合わせ、《決定》ボタンを押す

- 切タイマーの場合は、「分」を合わせて《決定》ボタンを押すと、タイマー時刻の設定が完了します。



5 運転モードと、温度またはパワーを設定し(入タイマーの場合のみ)、《決定》ボタンを押す

➔「暖房運転を始める」手順4 15 ページ

- タイマー予約が設定されます。設定したタイマーが表示され、運転ランプが白色に点灯します(運転中は赤色に点灯します)。
- 複数のタイマーを組み合わせて設定することもできます。

おしらせ

- タイマー予約後は、主電源スイッチを切らないでください。タイマー運転が実行されません。

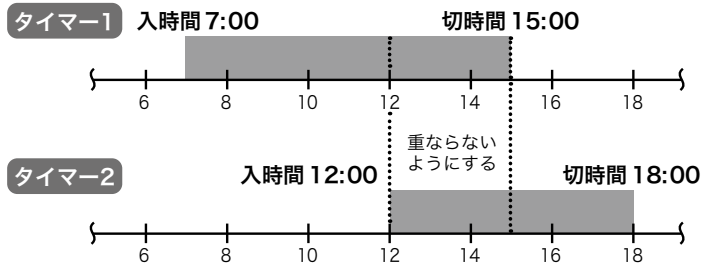
タイマー予約を切り替える・解除する

設定中のタイマーボタンを押すたびに、タイマー予約の設定／解除が切り替わります。

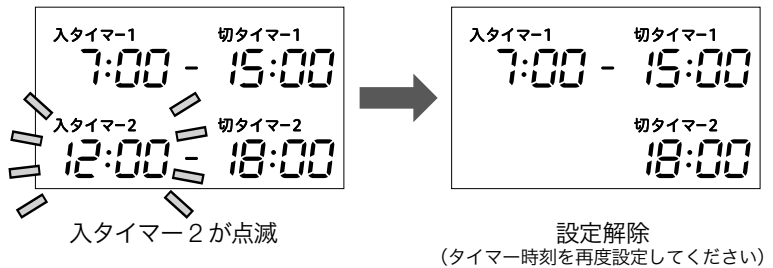
▶ 2つのタイマーを同時に予約する場合のご注意

タイマー1とタイマー2を同時に予約する場合は、運転時間が重ならないように設定してください。運転時間が重なると、タイマー1とタイマー2の同時予約ができない、または、タイマーが正しく動作しない原因となります。

運転時間帯が重なっている設定例



運転時間が重なっている状態でタイマー1とタイマー2を同時予約すると、実行できないタイマー予約が点滅表示され、その後設定が解除されます。タイマー時刻を再度設定してください。




その他の機能

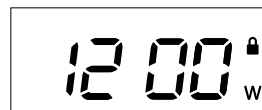
チャイルドロック

子どもが誤ってボタンを押してしまっても動作させないように、操作パネルのボタンをロックします。


▶ チャイルドロックを設定する

主電源スイッチを《入》にして、本体の《モード切替》ボタンを長押し(約3秒)します。画面に  が表示され、チャイルドロックがかかります。

- 暖房運転中、運転停止中の両方とも、チャイルドロックを設定できます。
- チャイルドロックが設定されていても、《入/切》ボタンを押して運転を停止する操作は可能です。



▶ チャイルドロックを解除する

画面の  が消えるまで、《モード切替》ボタンを長押しします。


消灯モード

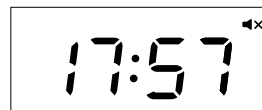
設定すると、約30秒間操作しないときに画面を消灯します。

- 主電源スイッチを《入》にして、運転を停止している状態で《▲》ボタンを長押し(約3秒)すると画面がすべて消灯します。もう一度《▲》ボタンを長押し(約3秒)すると設定が解除され、画面が表示されます。

消音モード

設定すると、操作時の操作音(電子音)を鳴らしません。

- 主電源スイッチを《入》にして、運転を停止している状態で《▼》ボタンを長押し(約3秒)すると消音モードになり、画面に  が表示されます。もう一度《▼》ボタンを長押し(約3秒)すると設定が解除され、表示が消えます。



本体の設定をリセットする

すべての設定がリセットされて、お買い上げ時の状態に戻ります。

リセットするには、運転を停止している状態で、《モード切替》ボタンと《決定》ボタンを同時に5秒以上押しつづけます。

お買い上げ時の設定

運転モード	温度
設定温度	20°C
タイマー入/切	タイマー 1の予約：解除 タイマー 2の予約：解除
時計	00:00
消灯モード	オフ
消音モード	オフ

お手入れ／保管のしかた

ご注意

- お手入れや保管は、電源を切って本体が冷めた後(約30分後)に、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
高温部に触れると、感電・やけど・けがの原因になります。
- 本体を丸洗いや、水にひたしたりしないでください。
故障の原因になります。
- ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉は使わないでください。
傷・変質・変色の原因になります。

お手入れする(本体・タオルハンガー・シューズハンガー)

- 乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどい場合は、ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤をしみこませた布を固く絞ってふいてください。
- 本体のすき間にたまったほこりは、定期的に掃除機で吸い取ります。

保管する

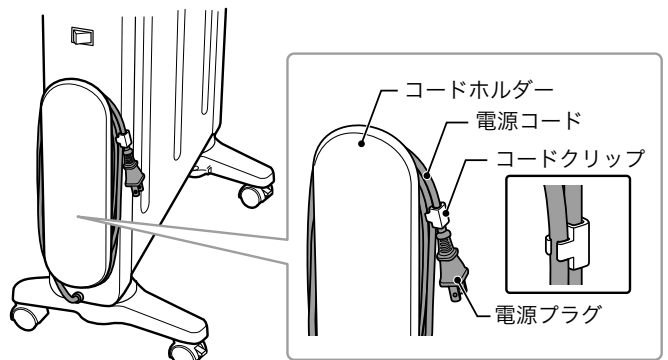
1 保管する前に、本体、タオルハンガー、シューズハンガーのお手入れをする

2 電源コードとプラグを収納する

- コードホルダーに電源コードを軽く巻きつけた後、コードクリップで電源プラグを固定してください。

ご注意

- 電源コードを収納する際は、次のことをお守りください。
電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。
- 電源コードをコードホルダーに、きつく巻かない。
- 電源コードやプラグを無理に引っ張ったり曲げたりしない。




3 保管する

- 付属の不織布カバーをかぶせて、ほこりや湿気の少ないところで保管してください。
- 脚を閉じて保管するときは、シューズハンガーを外してください。シューズハンガーを取り付けたまま、脚を閉じることはできません。

故障かなと思ったら

— 修理を依頼する前にご確認ください —

Q1 運転しない。

- A1 電源プラグが抜けていませんか。 > 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
- A2 主電源スイッチが《切》になっていませんか。 > 本体後面の主電源スイッチを《入》にして、電源を入れてください。
- A3 停電していませんか。 > 運転中に停電した場合は、本体の主電源スイッチを《切》にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。停電復帰後に、運転を再開してください。
- A4 本体が傾いていたり、不安定な場所に置かれていたりしませんか。 > 自動電源遮断装置が働き、運転が停止している場合があります。本体を平らな場所に置いて、お使いください。
- A5 本体周囲の温度が高くなっていませんか。 > 過熱防止装置が働き、自動的に電源が切れている場合があります。本体が冷めた後(約30分後)に電源を入れなおしてください。電源が入らない場合は、シロカサポートセンターまでお問い合わせください。
- A6 チャイルドロックを設定していませんか。 > 画面に  が表示されている場合は、《モード切替》ボタンを長押し(約3秒)して、チャイルドロックを解除してください。

Q2 タイマーが動作しない。

- A1 電源プラグが抜けていませんか。 > 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
- A2 主電源スイッチが《切》になっていませんか。 > 本体後面の主電源スイッチを《入》にして、電源を入れてください。
- A3 タイマーの設定内容がリセットされていませんか。 > 主電源スイッチを《切》にした状態が約1週間続くと、タイマー設定がリセットされますので再度設定しなおしてください。

Q3 タイマーの入時間・切時間になっても正しく運転しない。

- A 本体の時計が正しく設定されていますか。 > 時計を設定しなおしてください。
➔「時計の設定」 **14 ページ**

Q4 タイマー1とタイマー2の同時予約ができない。

- A タイマー1とタイマー2の運転時間が重なっていませんか。 > タイマー1とタイマー2の運転時間帯が重なっている状態で、タイマー1とタイマー2を同時に予約することはできません。
➔「2つのタイマーを同時に予約する場合のご注意」 **19 ページ**


Q5 自動で運転が停止する。

A 操作を行わない状態で、暖房運転が8時間経過していませんか。


手動の暖房運転や、入タイマーのみで暖房運転しているときに、操作しないままの状態でも8時間続けて運転すると自動的に運転が停止します。運転を再開する場合は、《入/切》ボタンを押してください。

Q6 本体のボタンで操作ができない。

A チャイルドロックを設定していませんか。

画面に  が表示されている場合は、本体の《モード切替》ボタンを長押し(約3秒)して、チャイルドロックを解除してください。

Q7 チャイルドロックが働かない。

A1 画面に  が表示されていますか。

表示されていない場合はチャイルドロックが解除されています。

A2 チャイルドロックが設定されていても、《入/切》ボタンを押して運転を停止する操作は可能です。

Q8 運転中にこげたにおいがする。

A 使いはじめたばかりではありませんか。

はじめてお使いになるときに、新製品特有のにおいがすることがありますが、故障ではありません。お使いになるうちに、気にならなくなります。

Q9 運転中や操作中に「カチッ」と音がする。

A 本体内部でヒーターが入切するときにカチッと音がなります。異常ではありません。

| 故障かなと思ったら

Q10 使用中、電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる。


- | | | |
|--|---|--|
| A1 たこ足配線を使っていませんか。 | } | たこ足配線の使用を中止してください。たこ足配線を使って他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して、火災・感電・故障の原因になります。 |
| A2 電源プラグが抜けかけていませんか。 | } | 電源プラグを根元までコンセントに確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。 |
| A3 差し込み口が2口あるコンセントで、両方の差し込み口をお使いではありませんか。 | } | コンセントの差し込み口が2口、3口であっても、本製品をお使いのときは単独でお使いください。 |
| A4 電源コードの上に物を載せたり、無理に曲げていませんか。 | } | 電源コードの上に物を載せたり、無理に曲げないでください。電気の流れが悪くなり、ショート・発火の原因になります。 |
| A5 電源コードをコードホルダーに巻いたり、束ねた状態で使っていませんか。 | } | 使用中は電源コードを束ねないでください。熱の逃げ場がなくなって電源コードが高温になり、発火の原因になります。 |
| A6 電源プラグやコンセントに、ごみやほこりが付着していませんか。 | } | 定期的に、付着しているごみやほこりを拭き取ってください。 |
| A7 コンセントがガタついたり、差し込みがゆるくありませんか。 | } | お近くの電気店に、コンセントの修理を依頼してください。コンセントが老朽化している場合があります。 |
| A8 電源プラグ・電源コードが傷ついたり、変形・破損していませんか。 | } | シロカサポートセンターに、修理・交換を依頼してください。 |

Q11 部屋があたたまらない。

暖房する部屋の諸条件(断熱材や位置など)によって、あたたまり具合は異なります。

- | | | |
|---|---|--|
| A1 温度モードで運転時、設定温度が低すぎませんか。 | } | 温度モードで運転時、設定温度が室内の温度より低い場合は自動的に暖房運転が停止します。
《▲》ボタンで設定温度を上げてください。 |
| A2 パワーモードで運転時、出力ワット(W)数の強さが低く設定されていませんか。 | } | 外気温や部屋の広さなどの使用環境によっては、部屋があたたまりにくい場合があります。《▲》ボタンで出力ワット(W)数の強さを上げてください。 |
| A3 本体をドア(出入口)付近に設置していませんか。 | } | ヒーターの暖気が逃げてしまうので、ドア(出入口)から離れた場所に設置してください。また、窓の近くで発生する冷気の侵入を防止するには、窓の下付近に設置するのが効果的です。
➡「効果的にあたためるためのポイント」 13ページ |

Q12 リモコンで操作できない。

- A1 本体に向けて操作していますか。 > リモコンを本体の操作パネルに向けて操作してください。
- A2 電池が消耗していませんか。 > 新しい電池に交換してください。
➡「リモコンの電池を取り替える」 **11 ページ**
- A3 電池の入れかた(＋と－の向き)が間違っていますか。 > 電池を正しい向きで入れ直してください。
- A4 本体とリモコンの間に障害物はありませんか。 > 障害物を取りのぞいてください。
- A5 チャイルドロックを設定していませんか。 > 画面に  が表示されている場合は、チャイルドロックが設定されています。本体の《モード切替》ボタンを長押し(約3秒)して、チャイルドロックを解除してください。

Q13 画面に何も表示されない。

- A 消灯モードに設定していませんか。 > ➡「消灯モード」 **20 ページ**

Q14 操作時の音が鳴らない。

- A 消音モードに設定していませんか。 > 画面に  が表示されている場合は、《》ボタンを長押し(約3秒)して、消音モードを解除してください。
➡「消灯モード」 **20 ページ**

仕様

品名(型番)	遠赤軽量ヒーター (SN-M271)
電源	交流 100 V、50/60 Hz
消費電力	1200 W (強1200 W / 中800 W / 弱400 W)
外形寸法(約)	幅 31 cm × 奥行 49 cm × 高さ 69 cm (脚を開いた状態、付属品含まず) ・幅 9 cm × 奥行 60 cm × 高さ 69 cm (脚を閉じた状態、付属品含まず) ・幅 34 cm × 奥行 49 cm × 高さ 70 cm (脚を開いた状態、付属品含む)
質量(約)	4.8 kg (付属品含まず)
電源コードの長さ(約)	1.8 m
安全装置	自動電源遮断装置、過熱防止装置
付属品	タオルハンガー、シューズハンガー、リモコン(テスト電池付き)、不織布カバー
対応畳数(目安)	10畳(自社実験による。試験条件：新省エネルギー基準 外気温5℃ 5面接触)暖房する部屋の諸条件(断熱材や位置など)によって、あたたまり具合は異なります
原産国	中国

重要

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

部品・消耗品

劣化・消耗したり、紛失してしまったときは、お買い上げの販売店またはインターネットでご注文いただけます。詳しくは以下のホームページをご確認ください。

<https://siroca.jp/>

- プラスチック部品はご使用にともない、傷んだり摩耗したりします。

部品名	部品コード
リモコン	SN-M251RC
不織布カバー	SN-M251NW
タオルハンガーセット	SN-M271TH
シューズハンガー	SN-M271SH

保証とアフターサービス

— 必ずお読みください —

▶ 保証書(裏表紙)

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。

保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

▶ 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、なお異常のあるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにお問い合わせください。

保証期間中(お買い上げ日から1年未満)の修理

保証書の規定により、無料で修理いたします。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている(お買い上げ日から1年以上)修理

修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

▶ 保証期間

お買い上げ日から1年間です。消耗部品は保証期間内でも有料とさせていただきます。

▶ 補修料金のしくみ

補修料金は技術料(故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金)と部品代(修理に使用した部品の代金)などで構成されています。

▶ 補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造終了後6年です。

その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

▶ 補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。

お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

— 長年ご使用の製品の点検を! —

- 定期的に「安全上のご注意」を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
- 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

— お客様の個人情報のお取り扱いについて —

- シロカ株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

シロカの最新情報はこちらでチェック!



シロカ公式
Facebook
www.facebook.com/siroca.jp



シロカ公式
Instagram
www.instagram.com/siroca.jp/

保証書

持込修理

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書は大切に保管してください。
お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書と製品を併せた状態で、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでお問い合わせください。

品名：遠赤軽量ヒーター	お買い上げ日： 年 月 日
型番：SN-M271	製造番号：
保証期間：お買い上げ日より本体1年間	販売店：店名・住所・電話
お客様： ふりがな お名前 ご住所 お電話	お願い：未記入の保証書の場合、お買い上げ日を証明するレシート、送り状などを必ず添付してください。証明がない場合、保証対象にならない場合があります。

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。
お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき弊社が無料修理いたしますので、製品と本保証書をご用意のうえ、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでご依頼ください。
ご転居、ご贈答などで、お買い上げいただいた販売店に修理が依頼できない場合は、シロカサポートセンターまでご連絡ください。
保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害、異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
 - 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用など）に使用された場合の故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。お買い上げ日を証明するレシート、送り状などの証明書がない場合。通信販売、インターネットでお買い上げ時、ご注文確認メールなどご購入履歴を確認できるものの提示がない場合。
 - 樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。（かすり傷、へこみなどを含みます）
 - 腐食による故障、及び損傷。
 - 消耗部品の交換。
 - お買い上げの製品が、使用後に有償無償を問わず譲渡されたもの（中古品）であった場合。
- 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
- 本書に基づく無料修理（製品交換を含みます）後の製品については、最初のお買い上げ時の保証期間が適用されます。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

シロカ株式会社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5F

19090021

修理・使いかた・お手入れなどに関するご相談・ご依頼は、下記までお問い合わせください。

ホームページ（お客様サポート）

よくあるご質問やメールでのお問い合わせはこちらをご覧ください。

<https://siroca.co.jp/support/>



部品・消耗品のご購入についてはこちらをご覧ください。

<https://siroca.jp>

電話でのお問い合わせ：シロカサポートセンター

ナビダイヤル  **0570-001-469**

上記番号がご利用いただけない場合 **03-3234-8800**

受付時間：**10:00～17:00**

（弊社指定休業日を除く。詳しくはホームページをご覧ください）

時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。
通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直しください。
サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。